

第 54 回 全国木材産業振興大会 (高知)



高知県で開催された第 54 回全国木材産業振興大会。 "次世代へつなぐウッドファースト社会を目指して"をスローガンに、全国から約 600 名が参加。引き続き開催されたホテル日航高知旭ロイヤルでの大懇親会には約 380 名が参加した。昨年は広島県で開催され、毎年各県の特徴を活かした大会が行われている。今大会で、高知県からは 3 名の方が表彰された。

開催日：令和元年 11 月 6 日（水） 会場：高知市文化プラザかるぽーと

【第1部 大会議事】

全木連では、平成26年の「『ウッドファースト社会』の実現に向けた共同宣言」以来、森林・林業・木材産業関係団体とともに毎年共同行動宣言を行い、力を合わせた取組みを行っている。また、都市部の木造化を進めるため「森林を活かす都市の木造化推進協議会」を設立し、各関係団体、企業、地方公共団体等との連携を密にして、木材利用拡大に対する強い追い風を捉えて木材需要を拡大し、日本の森林に活力を取り戻したいとしている。

今回、高知の現地報告では、新たな試みを通して、業界の活性化と木材の需要拡大を図るため、丸太から製材品までのヤング係数表示による国産材利用拡大に向けた取組みなどを発表した。

「コンクリート・鉄・プラスチック」から「木」の文化への理念のもと、一致団結して現世代から次世代へつなぐ「ウッドファースト社会」を目指して、共に行動することを期待したいと締めくくった。

“次世代へつなぐ ウッドファースト社会を目指して”



【宣言決議】

木材利用の拡大は、森林・林業の活性化のみならず地球温暖化防止、地方創生、国土強靱化などを通じ、豊かな暮らしや低炭素社会の実現に大きく貢献するものであり、森林資源が充実しつつある中、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用の確立が重要である。

全国各地で木造施設等が数多く建設されるようになり、都市部の建築物の木造化・木質化が大きく進み始めようとしている。これは木材を優先して活用する『ウッドファースト社会』の実現に向けて、政府、与党、経済界に訴えてきた我々の活動の成果と認識している。

今後とも、戦後続いてきた木材から非木材への流れを変え、木材の復権を確実なものとするため、安全・安心な木材の安定供給体制の構築とともに、都市の木造化・木質化など国民を挙げた木材利用拡大への動きの加速化や山元に利益を還元するための仕組み作りに木材産業界自らが率先して取り組み、消費者・ユーザーの協力を得ていくことが重要である。

そのため、次の事項について、経済界など多様な関係者の連携の下に英知を結集して行動する。

1. 都市部等での木材利用の大幅な拡大のため、法律・制度の見直し等抜本的対策の実現に取り組む。
2. 森林資源の循環利用を実現するため、森林環境譲与税等も活用し、山元に利益を還元できる体制の構築に森林・林業団体一体となって取り組む。
3. 木材産業振興のため、予算の確保、税制措置の継続に取り組む。
4. 新たな木材需要を創出するため、技術開発・普及等に取り組む。
5. 合法伐採木材、JAS製品等、品質・性能の確かな木材供給や人材の育成・確保に取り組む。

以上、決議する。

令和元年11月6日

(次回開催は鹿児島県)



【第2部 記念講演】

演 題：「土佐と材木―土佐藩の財政と林業―」

講 師：高知県立高知城歴史博物館 館長 渡部 淳



大会記念講演では、土佐と材木、林業に関する歴史的な内容を高知県立高知城歴史博物館の渡部館長より紹介。古来、土佐国は材木で支えられており幕府からの度重なる課役による財政難に陥った時も、土佐藩を救ったのは材木。土佐藩の逼迫した財政問題と、それを克服するために展開した林業政策が紹介された。

【第3部 表彰式】

<表彰者> 高知県関係者

【木材産業功労表彰者】



○ 全木連会長表彰状 野 地 清 美 (前(一社)高知県木材協会 専務理事)

【協同組合事業功績表彰者】

○ 林野庁長官感謝状 秋 山 順 一 (高知県木材産業協同組合連合会 理事)

○ 全木協連会長表彰状 北 岡 幸 一 (高知県木材産業協同組合連合会 理事)

【懇親会】



第2回 もくもくエコランド 2019

森林環境学習フェア

主催：高知県、もくもくエコランド実行委員会

共催：高知県木材普及推進協会

開催日：令和元年10月26日（土）・27日（日）

開催場所：高知市中央公園、帯屋町アーケード

■ 来場者数

1. もくもくエコランド

延べ 約 18,000 人

「26日（土）約 7,200 人・27日（日）約 10,800 人」



（オープニングセレモニー）

（事業内容）

森林環境学習の普及啓発にあわせて、高知県産木材の積極的な活用を県民活動として広げるため昨年度に続き、「第2回もくもくエコランド 2019 森林環境学習フェア」として開催した。

県の森林環境税を活用し、県民の皆さんに森林環境保全の重要性を理解し深めて頂く機会として、従来の高知県木造住宅フェアの取り組みを活かしながら、新たに森林環境学習や森林保全ボランティア活動などの要素を加え、木と親しんでもらう秋の恒例のイベントとして開催している。

“豊かな森は木づかいから”をテーマに掲げ、今年は両日共に天候にも恵まれ、約 18,000 人の来場者を迎えた。10月が高知県木材利用推進月間でもあり、木や木造住宅に関する企業や団体も数多く出展。土佐大工の会による小規模屋根構造の組立や瓦屋根工事組合による瓦の張り方などの実演も行われ、子供らも参加。森林環境学習ブースでも木工品の作成、四万十高校（自然環境コース）によるリースづくりなど体験型の学習も多く出展。さらにステージイベントでは、スーパーバンドライブやお笑い芸人ヒロシによるソロキャンプと自然体験の魅力をテーマにしたトークショー、またご当地キャラやキッズダンスショーなどで盛り上がった。

他：「森林環境学習スタンプラリー」・「森の検定」・「キッズ絵画コンクール」・「木のおもちゃコーナー」・「仁淀川移動水族館」・「段ボールハウスづくり」・「もち投げ」など



本県の豊かな森林について、幅広い方々に森林の持つ多面的機能や森林環境保全の重要性を理解して頂き、木材利用や森林への関心を深めていただくための情報発信の場として、また森林環境学習の普及啓発にあわせ、高知県産材の積極的な活用に向けたイベントとして今後も継続して開催したいと考えている。



（屋根組立 実演）



（段ボールハウスづくり）



（森林環境学習ブース）

第45回木材まつり 優良土佐材展示即売会

主催：(一社)高知県木材協会

高知県産優良木材を一堂に集積し、その評価の高揚と業界の振興発展を図るための年に1度のイベントとして、10月は素材の部、11月は製材品の部に分け開催した。

素材の部：高知県林材株式会社

開催日：令和元年10月24日（木）

国有林（委託材）500m³（民有林）1,500m³

計 2,000m³

高齢級桧 造桧 造杉 他



あいにくの小雨開催となったが、目玉材（天然ヒノキ11m）に145万/m³の値がつけられ、9m材と合わせ2本で1,000万を超え、活気ある競りがみられた。

8月から市売運営を終了した（株）ゲンボク市場の影響もあり、買い方も増えつつあるが、県外相場に合わせた価格も先行き不透明な状況が続いている。

（表彰者）

- 高知県知事賞 【宗教法人 十二所神社】
- 四国森林管理局長賞 【住友林業フォレストサービス】
- 高知県木材協会長賞 【清水産業（株）四国事業所・津野町森林組合・（有）伊藤運送・下元木材】

製材品の部：協同組合高知木材センター

開催日：令和元年11月14日（木）

午前：役物類（造作材 柱材 他）

午後：一般材（桧土台 柱材 板材 他）

国有林材製品 250m³ 民有林材製品 500m³

（計 750m³）



天候にも恵まれ、買い方も含め70名程が競りに参加。造作材一般材とも価格は低迷、相場の大きな変動はみられない。営業を止めた徳島の業者から出材されたケヤキ材などはほぼ完売した。

（表彰者）

- 高知県知事賞 【窪内木材（株）】
- 四国森林管理局長賞 【（株）森岡木材】
- 高知県木材協会長賞 【（有）山崎製材所・丸幸木材（株）・橋本木材店・（有）丸桧・（有）秋山木工場・三宮製材所・高知おおよ製材（株）】

令和元年度 優良材展示即売会

主催：高知県素材生産業協同組合連合会

開催日：令和元年 11 月 25 日（月）

開催市場：高知県林材株式会社 銘木市場



高知県素材生産業協同組合連合会（福留理事長）主催による令和元年度の優良材展示即売会は高知県林材株式会社で開催。天候にも恵まれ多くの買い手が競りに参加した。

業界の振興発展を図るため年に 1 度のイベント「民・国合同フェア」として開催。120 年の高齢級ヒノキ・スギなどを含め約 1,500 m³を出材して競りにかけられた。

愛媛県などの丸太市況による影響もありスギ・ヒノキとも価格は下がっているが、高齢級優良材は従来通りの相場で取引されていた。

受賞者：

- 四国森林管理局長賞（杉優良材の部）・・・ 湊村林業株式会社
- 高知県知事賞（桧優良材の部）・・・・・・ 株式会社高知官材
- 高知県素材生産業協同組合連合会理事長賞
杉優良材の部・・・ 石川産業有限会社
桧優良材の部・・・ 中江産業株式会社 土佐事業所
その他樹種優良材の部・・・ 有限会社吉野川陸送



土佐材流通促進協議会・展示会事業

① 令和元年度 「(株) 太洋木材市場」 第 4 回高知土佐材まつり

開催日：令和元年 11 月 1 日（金）

会場：香川県高松市郷東町乾新開

出材品：秋山木工場・丸桧ほか

来客数：約 60 人



【事業の概要】

今回で第 4 回目となる高松、太洋木材市場での土佐材まつりを開催した。
今年 10 月に就任した樋口哲也新社長による開会の挨拶に続き、威勢よく競りを開始。
今回は大口買い手が数名都合により来場できなかったため、入荷総材積は約 330 m³で約 3 割の販売となった。
単価も厳しい競り市となったが、高知営業所との連携もあり、優良土佐材展示会として定着しつつある。

② 令和元年度「丸宇木材市売(株)」第9回土佐材展示会

開催日：令和元年11月22日(金)

会場：茨城県下妻市

丸宇木材市売(株)下館市場

来場者：買い方約80人

展示品：杉・桧の一般材・役物



第9回目の丸宇木材市売(株)下館市場で開催された土佐材展示会。

肌寒い小雨の中、県内外から来場した買い方は約80名。出展材積は約300m³、うち販売は6割ほどで今回の展示会
用出材の平均単価は約5万6千円。

(出材製材：高知おおとよ製材・後田製材所・昭和木材・山上木材・関西木材建設・秋山木工場・山和木材)

高知都市木造セミナー

『高知都市木造 CG を解剖し、高知発の部材開発につなげる』 Vol.4

今回で4回目の開催となる高知都市木造セミナー。今回も各テーマに分かれ具体的な内容のワーキングを開催。木のパネルや高強度材、耐久性、PR 方法などをテーマに率直な意見交換の場を設けた。

高知発信の部材開発も含め、取り組んでいく。

開催日： 10月15日(水)

会場： オリエントホテル

【内容】

- ① team Timberize 講師を交えたワーキング
- ② 参加者による意見交換ほか相談会
(テーマ：高強度材・木づかい・建具・PR 戦略イベントほか)



◆次回の都市木造セミナーは 12月5日(木)(高知会館)で開催予定

ウッドワンダーランド 2019

開催日：令和元年10月2日～4日

会場：名古屋市港区金城ふ頭 2-2



(概要)

名古屋で開催されるウッドワンダーランド 2019 に高知県ブースを設営し、土佐材の営業活動をおこなった。
別棟では木工機械展も行われ、高知からも興味を持つ木材関係者らが多数来場した。

幡多山もりフェス

開催日：令和元年 10 月 27 日（日）

会場：四万十川左岸河川敷

主催者：幡多地区森林組合連合会

来場者：約 3,000 人



（概要） 木材協会ブースを展示する。

日程は高知市中央公園で開催中の「もくもくエコランド 2019」と重なったが担当を分担し、2 班に分かれて今年も参加した。JAS 構造材利用拡大事業と合法木材をテーマにブース展示をおこなった。来場者は小さな子ども連れが多く、木材協会ブースは「木のおもちゃ」で終日にぎわった

ハローよこはま 2019

開催日時：令和元年 10 月 14 日(月祭)9:30～14:30

会場：神奈川県横浜市中区山下町 118



（概要）

（株）川島材木店で開催される催事に参加し土佐材の普及活動を行った。

13 日に開催予定されていた「ハローよこはま 2019」が台風によって中止となり、折角送り込んでいた木の玩具等を使わずに無駄になるはもったいないということで、（株）川島材木店が店前で急遽ミニ催事を開催してくれた。近所へのチラシ配り等で少し来場者があった。

午後には神奈川建築士会の面々も参加し、土佐材の営業説明を行うとともに 11 月に予定されている東京商談会への案内もした。

東京商談会

開催日時：令和元年 11 月 21 日(木)18:00～21:30

場所：東京都大田区南蒲田 1-20-20 大田区産業プラザ 会議室
高知県参加者：（協）ドライウッド土佐会、（株）モリシカ

（協）高知木材センター）、（株）イータスインザルーム）

（木材産業振興課）、（高知県東京事務所）、

来場者：6 社 6 人

（概要）

これまでの関東商談会は参加者が少なく、今回は夜の開催により参加者の増加が見込めるのかを試してみることにした。結果的には 6 社が参加し、充実した商談会になった。



木材利用推進 全国会議

開催日：令和元年 11 月 1 日(金)13:00～18:30

場所：東京都江東区新木場 木材会館 7 階ホール



北川村（ゆずの花）



香南市（にこなん）

（概要）

令和元年度木材利用推進「全国会議」が木材会館で開催された。また木材利用優良施設の表彰では全国から多数の応募がある中、今年も昨年に続き高知県内の 2 施設が受賞した。

環境大臣賞として香南市総合子育て支援センター「にこなん」、木材利用推進中央協議会会長賞として北川村小規模多機能施設「ゆずの花」が受賞した。

「ゆずの花」・・在来工法屋根の宿泊棟と CLT 工法による交流棟の 2 棟が隣接。多目的サロン屋根は、厚さ 150 mm の CLT を組み合わせて構成、板梁（燃えしろ設計）として、天井仕上げを兼ねている。

「にこなん」・・香南市内 5 カ所の子育て支援センターを統合した総合子育て支援センター「にこなん」。屋内広場の木質で囲まれた中で、妊娠、出産、子育てまでと親子で利用される。

第 2 回ロット部会

開催日：令和元年 11 月 12 日（火）

場所：高知県木材協会



次回合同市（令和 2 年 2 月 27 日・高幡木材センターにて開催する）

「議題」

1. 第 10 回合同見本市の開催について（準備・案内・チラシ）
2. 今後の合同市に対する意見・要望（各会員らの意見ほか）
3. 土佐材販売促進のための意見・要望（拠点からのアンケート回答参照）

第 10 回の合同見本市を節目とし、継続するか否かを協議。土佐材を県外で PR し販売促進を図るためには、継続した事業展開が必要であるため、継続する方向を確認。

また、土佐材展示会開催の拠点からの意見・要望を参考にこれからの有り方などを協議した。

協働の森フォーラム

開催日時： 令和元年 10 月 18 日(金) 13:00~16:40

場所： 高知市知寄町 2-1-37 ちより街テラス 3F

参加者数：約 200 名

主催：高知県



講演： (一社)コンサベーション・インターナショナル・ジャパン (代表理事 日比 保史 氏)
(概要)

県内の建築関係・製材事業者・建築設計事務所・流通業者などを対象に開かれた今回のフォーラム。一般社団法人コンサベーション・インターナショナル・ジャパン代表理事の日比 保史氏より「SDGs を高知の資源から読み解く」というテーマで講演が行われた。SDGs とはサステイナブル・デベロップメント・ゴールズの略称であり具体的に言うと「持続可能な開発目標」。

講演では我が県における木材産業のみならず現在の地球規模での環境問題、気候変動やそれによってもたらされる問題点などの内容を講義。まさしく森林資源は持続可能な資源であり、高知県の持つ豊かな森林資源とその森林がもたらす自然資本を守り、育てるための協働の森づくり事業が果たす役割は大きい。

講演会後には、質疑応答の意見交換を行った。



また、第一会議室には展示企画として高知の森林がもたらす「恩恵」のブースとして、県産材を使用した家具や CLT の展示があり、四万十町森林組合大正集成材工場のヒノキカグやエコアス馬路村のモナッカバッグなどをはじめとした木製品が展示された。



設計活用セミナー

県産材を活用した木造新工法の 設計マニュアル活用セミナー

主催：高知県林業活性化推進協議会

開催日：令和元年 10 月 9 日(水)

会場：ちより街テラス 会議室

「内容」

- 新工法の説明と事例紹介
- 重ね透かし梁及び A 型トラスの詳細設計法
- 壁ラーメンの詳細設計法

非住宅建築物の木造化を促進するために、高知県内で開発された非住宅木造建築向けの構造用製品 3 工法の設計マニュアル活用セミナー。県内から木造建築に興味のある設計士ほか工務店関連業者らが多数参加した。



【効率的なサプライチェーン構築支援事業】 第2回情報交換会

開催日：令和元年 11 月 15 日

会場：ちより街テラス 3F

(議題内容)

・「情報提供」

- 注目したい木造需要の一例
- 求められる木材の性能と品質
- 原木と製材品の強度性能測定調査概要
- ・グループ討議
- ・全体会議



提供された情報を中心として二つのワーキンググループに分かれ意見交換。

素材生産、製材、プレカット、設計、施工等の担当より、現在の問題点や対策なども含め効率的なサプライチェーンの方向性について協議された。

令和元年度 高知県功労者表彰及び高知県文化賞受賞者表彰記念

日時：令和元年 11 月 3 日 会場：高知会館

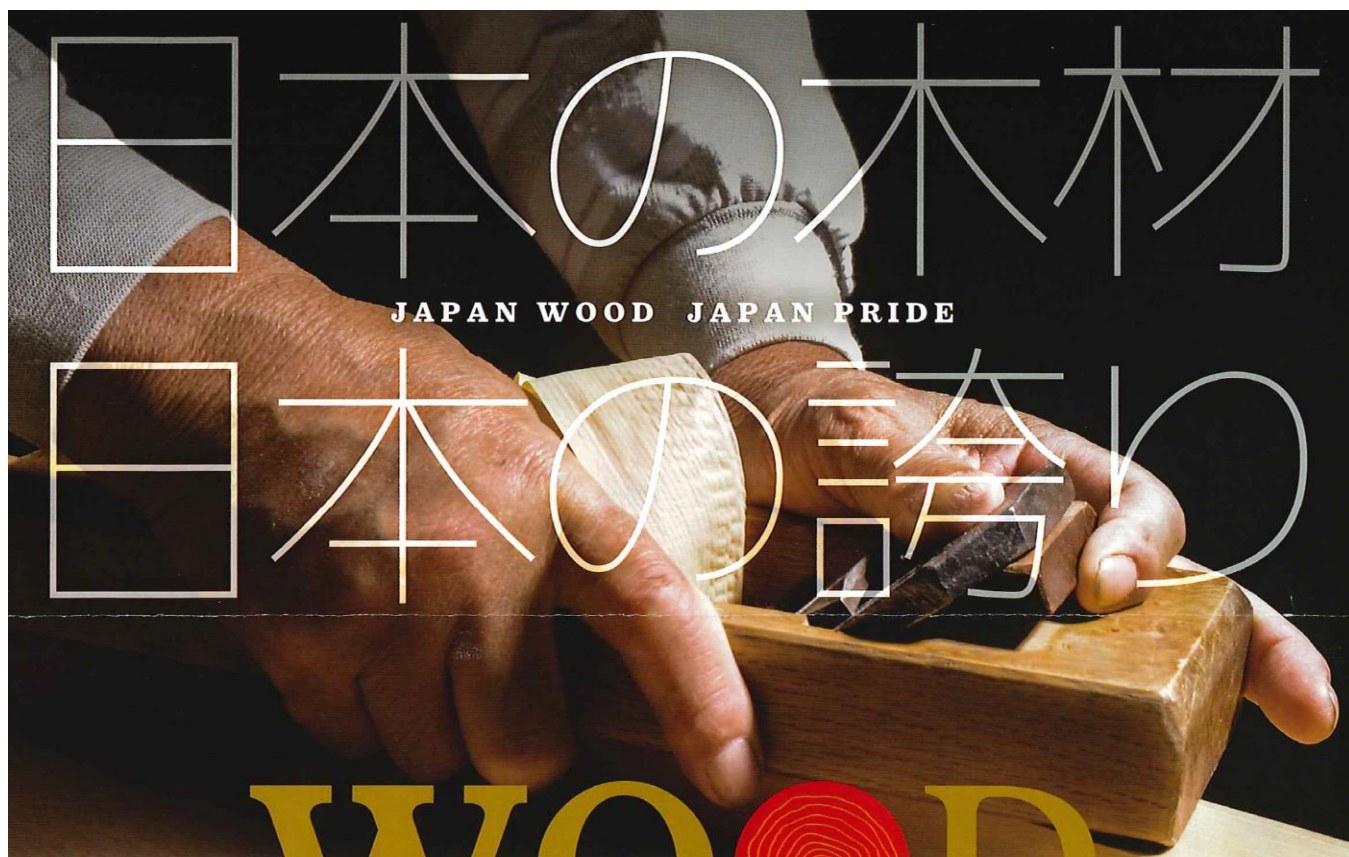


高知県功労表彰者：農林業関係から長年の功績に対し、江口文夫 氏（75 歳）
（高知県水源林造林協議会・副会長）と伊藤訓新 氏（74 歳）両名が表彰された。

伊藤 訓新 氏（高岡郡四万十町大井川）



(現)：(一社) 高知県木材協会副理事長・高知県木材産業(協) 連合会副理事長・(協) 高幡木材センター理事長・土佐材流通促進協議会副部長・伊藤製材(有) 代表取締役・十和村議会議員



日本の木材

JAPAN WOOD JAPAN PRIDE

日本の誇り

WOOD

Collection 令和元年

——— 全国各地の国産材が集まる日本唯一の木の祭典 ———

東京をはじめ、日本各地の国産材を活用した建材や家具などの木材製品展示商談会です。
高い技術を駆使した魅力的な木材製品を多数揃え、皆様のご来場をお待ちしております。



会期：2019.12.10 [TUE] - 11 [WED]
10:00-17:30 10:00-16:30

会場：東京ビッグサイト 南3-4 ホール

詳細はこちら▼

www.mokucolle.com/

モクコレ 令和元年



【主催】東京都 【運営】WOODコレクション(モクコレ) 実行委員会

【後援】林野庁、(一社)全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、(公社)国土緑化推進機構

【出展都道府県】北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県



▲ イベントHP



WOOD コレクション 令和元年

【ご来場に関するお問い合わせ先】 WOODコレクション(モクコレ) 運営事務局 mokucolle_reiwa@eventsupporter.jp

入場
無料

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

「CLT建築推進フォーラム in Kochi」(12/3 開催)のご案内

みやこ下地島空港ターミナルや3階建てマンションなど、CLTを使った建築事例の紹介や、CLT現場で組み立てられている施工のポイントや工夫などについてディスカッションも予定しています。

木材を使った建築に興味のある多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日時：令和元年12月3日(火) 13:30～16:20

会場：ちより街テラス 3階 ちよテラホール (高知市知寄町2丁目1-37)

内容：講演1 「CLTを用いた新たな空間の創生ーみやこ下地島空港ターミナルー」

株式会社日建設 村上 勝英 氏

：講演2 「CLT構法による建築物の輝かしい未来」

株式会社センチュリーハウス 加治木 百年 氏

講演・ディスカッション 「CLT 2020 その後」

(モデレーター) 木構造振興株式会社 原田 浩司 氏、 村上勝英氏、加治木百年氏



みやこ下地島空港ターミナル

令和元年
12月3日(火)
13:30～16:20
(開場12:45～)

会場 ちより街テラス3階
ちよテラホール
(高知市知寄町2丁目1-37)

とさでん交通路面電車「知寄町二丁目」
電停より徒歩1分 日産サティオのある建物
3階無料駐車場がご利用いただけます

連絡先： 担当：弘瀬、乃一

高知県 林業振興・環境部 木材産業振興課

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7-52

電話：

加工促進担当 088-821-4591

需要拡大担当 088-821-4592

利用促進担当 088-821-4593

販売促進担当 088-821-4858

ファックス：088-821-4594

メール：030501@ken.pref.kochi.lg.jp

第7回 CLT建築推進フォーラム in Kochi

定員 先着100名

参加費 無料

建築CPD認定プログラム
(建築士会CPD制度)

CLTを使った空港ターミナルや
3階建共同住宅などの事例紹介と、
これまでのCLT建築から導き出さ
れた現場での工夫やポイント、コ
ストなどについて共有したいと思います。

多くの皆様のご参加をお待ちし
ております。



ロイヤルセンチュリー給良

住宅着工情報			全国住宅着工戸数											
令和元年9月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表														
(単位：戸、%)														
	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
		対前年		対前年		対前年		対前年		対前年		対前年		対前年
	戸数	同月比	戸数	同月比	戸数	同月比	戸数	同月比	戸数	同月比	戸数	同月比	戸数	同月比
北海道	2,739	-13.1	1,044	9.5	1,386	-20.1	31	-62.7	278	-27.2	68	-67.8	210	22.8
青森	631	-6.7	341	-11.7	226	-5.8	3	200.0	61	24.5	0	0.0	61	24.5
岩手	969	26.2	345	-8.2	568	64.2	2	-86.7	54	74.2	12	-	42	35.5
宮城	1,159	-31.4	411	-17.6	442	-41.2	5	-	301	-31.3	33	-78.8	268	-5.0
秋田	327	-38.0	210	-1.9	73	-18.0	2	100.0	42	-81.2	0	-100.0	42	13.5
山形	533	-4.1	235	-25.4	187	-1.6	1	-	110	115.7	45	-	65	27.5
福島	1,105	5.6	434	-6.5	444	9.6	26	550.0	201	16.2	0	0.0	201	16.2
茨城	1,403	-17.0	787	-3.8	337	-48.9	21	600.0	258	22.9	0	0.0	258	22.9
栃木	962	-10.3	511	1.2	280	-27.8	7	-56.3	164	0.6	6	-	158	-3.1
群馬	1,003	-5.6	546	0.7	240	-25.0	1	-75.0	216	10.2	0	0.0	216	10.2
埼玉	4,598	3.8	1,290	-3.2	1,590	5.9	9	200.0	1,709	7.3	433	58.0	1,268	-2.2
千葉	4,613	2.3	1,019	-15.9	1,219	-36.0	1	-98.6	2,374	79.8	1,394	326.3	971	-2.0
東京	12,006	-0.4	1,255	-11.8	5,105	-24.6	148	131.3	5,498	44.8	4,031	83.1	1,455	-7.0
神奈川	6,604	-8.9	1,171	-10.2	2,553	6.7	17	-5.6	2,863	-18.9	1,524	-23.4	1,338	-6.4
新潟	1,205	18.5	632	21.5	480	39.5	15	400.0	78	-48.0	0	-100.0	78	21.9
富山	519	-4.9	266	-16.9	198	9.4	13	-	42	-6.7	0	0.0	42	20.0
石川	598	-17.5	309	-10.2	216	-24.5	4	-	69	-27.4	0	0.0	69	-22.5
福井	400	1.0	222	-4.7	144	21.0	1	0.0	33	-23.3	0	0.0	33	-10.8
山梨	307	-7.5	188	-10.9	70	-16.7	20	1,900.0	29	-19.4	0	0.0	29	-19.4
長野	884	0.7	576	7.1	210	-2.8	0	0.0	98	-21.0	0	0.0	98	-21.0
岐阜	849	-16.7	422	-16.8	291	-16.1	0	-100.0	136	-2.9	0	0.0	136	-2.9
静岡	1,536	-19.5	927	-6.6	371	-32.1	5	-44.4	233	-35.3	0	-100.0	233	-15.9
愛知	5,373	-5.9	1,615	2.2	1,955	-24.6	4	300.0	1,799	17.4	807	44.6	992	2.4
三重	1,032	0.3	482	12.9	448	2.5	6	-	96	-41.8	0	-100.0	94	-19.7
滋賀	836	25.7	379	-0.8	238	80.3	0	-100.0	219	46.0	140	337.5	79	-25.5
京都	1,356	7.8	424	4.2	542	-5.1	10	-16.7	380	41.8	97	-	275	2.6
大阪	5,547	-25.2	1,150	18.8	2,335	-33.2	3	-98.6	2,059	-25.0	1,011	-44.3	992	10.3
兵庫	3,230	44.2	884	7.9	842	-7.6	28	211.1	1,476	194.6	923	1,491.4	536	21.0
奈良	528	-10.1	227	-7.3	126	-36.7	8	-	167	16.8	63	-	104	-27.3
和歌山	355	-6.6	226	-4.6	91	-10.8	2	-	36	-12.2	0	0.0	36	-12.2
鳥取	344	42.1	149	1.4	113	24.2	1	-	81	1,925.0	70	-	11	175.0
島根	511	101.2	152	9.4	341	224.8	1	-	17	70.0	0	0.0	14	40.0
岡山	922	-15.6	484	-0.4	305	-35.8	2	-33.3	131	2.3	48	-	83	-35.2
広島	1,291	-7.7	484	3.6	481	-17.1	2	-91.3	324	-1.5	112	15.5	212	-8.6
山口	473	-22.3	249	-8.5	128	-47.1	53	5,200.0	43	-54.3	0	-100.0	43	-20.4
徳島	329	-17.3	166	-13.5	148	-15.4	0	0.0	15	-51.6	0	0.0	15	-51.6
香川	530	-14.9	243	-15.6	130	-45.6	0	-100.0	157	65.3	110	103.7	47	14.6
愛媛	540	-23.9	321	-7.8	171	-45.0	0	0.0	48	-5.9	4	-	44	-13.7
高知	382	43.1	149	3.5	153	56.1	1	0.0	79	229.2	49	-	30	25.0
福岡	3,550	8.7	845	-0.9	1,508	-6.7	0	-100.0	1,197	51.3	695	80.1	500	24.7
佐賀	449	-28.3	222	-9.0	166	-51.0	5	-	56	30.2	0	0.0	56	30.2
長崎	521	-7.1	233	-13.7	215	-0.9	1	-66.7	72	1.4	42	-16.0	30	42.9
熊本	1,378	-2.1	568	-14.6	551	4.2	1	0.0	258	21.7	129	40.2	129	7.5
大分	496	-27.3	234	-14.3	227	-25.8	0	-100.0	35	-65.0	0	-100.0	35	-38.6
宮崎	563	-15.5	236	-14.5	289	-17.2	0	-100.0	38	-5.0	0	0.0	38	-5.0
鹿児島	789	-24.0	483	-1.0	161	-56.1	1	-88.9	144	-17.2	48	-31.4	96	-7.7
沖縄	1,640	10.7	262	6.5	1,120	6.1	3	-66.7	255	49.1	128	54.2	127	44.3
合 計	77,915	-4.9	24,008	-3.5	29,414	-16.8	464	-24.7	24,029	14.1	12,022	34.6	11,889	0.1
北海道	2,739	-13.1	1,044	9.5	1,386	-20.1	31	-62.7	278	-27.2	68	-67.8	210	22.8
東北	4,724	-10.2	1,976	-12.3	1,940	-4.1	39	85.7	769	-20.3	90	-73.7	679	9.0
関東	32,380	-2.7	7,343	-6.9	11,604	-18.5	224	22.4	13,209	20.4	7,388	54.2	5,791	-3.7
北陸	2,722	1.4	1,429	0.8	1,038	11.6	33	725.0	222	-33.3	0	-100.0	222	-1.3
中部	8,790	-9.0	3,446	-1.8	3,065	-21.9	15	-57.1	2,264	3.0	807	18.2	1,455	-3.2
近畿	11,852	-5.5	3,290	7.6	4,174	-22.8	51	-77.8	4,337	12.7	2,234	17.2	2,022	6.4
中国	3,541	-1.5	1,518	0.5	1,368	-8.4	59	118.5	596	5.5	230	67.9	363	-15.2
四国	1,781	-10.9	879	-9.6	602	-26.9	1	-50.0	299	48.8	163	201.9	136	-7.5
九州	7,746	-6.1	2,821	-8.1	3,117	-16.3	8	-63.6	1,800	25.8	914	42.6	884	12.5
沖縄	1,640	10.7	262	6.5	1,120	6.1	3	-66.7	255	49.1	128	54.2	127	44.3
首都圏	27,821	-1.5	4,735	-10.2	10,467	-16.7	175	10.1	12,444	21.5	7,382	54.1	5,032	-4.7
中部圏	8,790	-9.0	3,446	-1.8	3,065	-21.9	15	-57.1	2,264	3.0	807	18.2	1,455	-3.2
近畿圏	11,852	-5.5	3,290	7.6	4,174	-22.8	51	-77.8	4,337	12.7	2,234	17.2	2,022	6.4
その他地域	29,452	-6.4	12,537	-3.8	11,708	-13.0	223	16.1	4,984	4.3	1,599	2.9	3,380	5.7

木材業景況調査結果

第422回（令和元年10月分）

（一社）全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

10月は、販売量については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。仕入量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加した。販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。全体的には、前月と変わらずの結果であった。

11月は、販売量・仕入量については、流通部門では変わらずの見通し、製造部門では増加の見通し、販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。全体的には、販売量・仕入量は増加、販売価格・仕入れ価格は保ち合いの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材については、流通部門では保ち合い予想、製造部門ではやや弱含み予想、北洋材（欧州材を含む）については、流通部門では保ち合い予想、製造部門ではやや弱含み予想である。国産材については、流通部門では保ち合い予想、製造部門ではやや弱含み予想である。また、建材は保ち合い予想である。

プレカットは、非住宅・大型物件を含め稼働がピークをむかえ、順調に推移している模様。

景況調査

令和元年10月分集計表（ ）内は実数
モニター数141 回答数77 回収率55%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加19%（15）	変わらず60%（47）	減少21%（16）
仕入量	増加21%（16）	変わらず62%（48）	減少18%（14）
販売価格	上昇5%（4）	変わらず90%（70）	下降5%（4）
仕入価格	上昇5%（4）	変わらず88%（69）	下降6%（5）

来月の見通し

販売量	増加13%（10）	変わらず79%（62）	減少8%（6）
仕入量	増加9%（7）	変わらず82%（64）	減少9%（7）
販売価格	強含み3%（2）	保ち合い95%（74）	弱含み3%（2）
仕入価格	強含み1%（1）	保ち合い95%（74）	弱含み4%（3）

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	3%（2）	76%（45）	20%（12）
南洋材	12%（6）	83%（43）	6%（3）
北洋材（欧州材を含む）	8%（4）	79%（41）	13%（7）
国産材	4%（3）	82%（59）	14%（10）
建材	13%（7）	82%（46）	5%（3）

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	32%（18）	65%（37）	4%（2）

〔製造部門〕

モニター数147 回答数90 回収率61%

当月の状況

販売量	増加23%（21）	変わらず57%（51）	減少20%（18）
仕入量	増加28%（25）	変わらず57%（51）	減少16%（14）
販売価格	上昇4%（4）	変わらず90%（81）	下降6%（5）
仕入価格	上昇19%（17）	変わらず76%（68）	下降6%（5）

来月の見通し

販売量	増加29%（26）	変わらず61%（55）	減少10%（9）
仕入量	増加27%（24）	変わらず59%（53）	減少14%（13）
販売価格	強含み3%（3）	保ち合い90%（81）	弱含み7%（6）
仕入価格	強含み10%（9）	保ち合い83%（75）	弱含み7%（6）

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	7%（2）	68%（19）	25%（7）
南洋材	11%（2）	89%（17）	0%（0）
北洋材（欧州材を含む）	4%（1）	58%（14）	38%（9）
国産材	10%（8）	69%（57）	22%（18）

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	41%（14）	50%（17）	9%（3）

9月の新設住宅着工

=3ヶ月連続で8万戸割れ=

19年度上半期は2万5,000戸減 9月の新設住宅着工戸数は7万7,915戸（前年同月比4.9%減）

3ヶ月連続で前年を下回り、総戸数も3ヶ月連続で8万戸を割っている。総戸数の1～9月累計は前期比2%減の68万2,303戸。仮に3%減予測で年間着工戸数は約91万4千戸。

今年度に入って貸家の減少幅が大きく、13か月連続で前年度割り。この7～9月の3か月で毎月約6,000戸も減っている

高知県の平成30年度新設住宅の年計は3,288戸。（年度計は3,374戸）

令和元年度は9月末で年計2,472戸。（前年比85%）残り3ヶ月が昨年並みであれば約3,400戸となる見通し。

〔新設戸数〕

年・月	新設総数		年率 換算値	資金別（機構は公的の内数）			利用関係別（）は分譲の内数					
	戸	前年比%		民間	公的	金融機構	持ち家	貸・家	給与	分譲	（戸建て）	（マンション）
2016年	967,705	106.4	—	862,137	105,568	46,161	292,287	418,543	5,875	250,532	133,739	114,570
17年	964,641	99.7	—	866,552	98,089	44,234	284,283	419,397	5,770	255,191	138,189	114,830
18年	942,370	97.7	—	842,197	100,173	45,968	283,235	396,404	7,468	255,263	142,393	110,510
18年9月	81,903	98.5	943,000	73,634	8,269	3,862	24,873	35,350	616	21,064	11,882	8,934
10月	83,330	101.7	950,000	74,395	8,935	4,219	25,949	35,225	762	21,394	12,556	8,604
11月	84,213	99.4	957,000	75,480	8,733	3,918	25,527	34,902	564	23,220	12,561	10,460
12月	78,364	102.1	961,000	69,960	8,404	4,285	24,415	30,788	405	22,756	13,006	9,546
19年1月	67,087	101.1	872,000	60,244	6,843	3,310	20,925	24,776	475	20,911	11,190	9,368
2月	71,966	104.2	967,000	63,997	7,969	3,554	21,992	27,921	863	21,190	11,844	9,132
3月	76,558	110.0	989,000	68,744	7,814	3,448	22,404	28,413	440	25,301	11,738	13,330
4月	79,389	94.3	931,000	71,087	8,302	4,032	25,436	29,511	1,031	23,411	12,698	10,480
5月	72,581	91.4	900,000	64,203	8,378	3,556	24,826	26,164	374	21,217	11,899	9,165
6月	81,541	112.3	922,000	73,234	8,307	4,059	28,394	30,645	632	21,870	13,096	8,597
7月	79,232	97.2	910,000	71,169	8,063	4,116	26,282	30,383	625	21,942	13,074	8,600
8月	76,034	92.9	891,000	68,253	7,781	3,769	24,027	29,255	235	22,517	12,236	10,159
9月	77,915	95.1	897,000	69,898	8,017	4,215	24,008	29,414	464	24,029	11,889	12,022
19年累計	682,303	98.0	—	610,829	71,474	34,059	218,294	256,482	5,139	202,388	109,664	90,853
前年同期	696,463	96.7	—	622,362	74,101	33,546	207,344	295,489	5,737	187,893	104,270	81,900
前年比%	98.0	—	—	98.1	96.5	101.5	105.3	86.8	89.6	107.7	105.2	110.9

令和元年度新設住宅：総括表

高 知 県
(単位：戸)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計	1月	2月	3月	年度計
新設住宅計	204	229	249	217	257	308	353	273	382				2,472				1,790
建築主別																	
公 共	0	0	80	0	0	0	0	0	6				86				6
民 間	204	229	169	217	257	308	353	273	376				2,386				1,784
利用関係別																	
持家	124	117	124	143	108	170	147	141	149				1,223				858
貸家	60	47	98	50	77	96	107	67	153				755				550
給与住宅	0	11	0	2	0	0	2	1	1				17				6
分譲住宅	20	54	27	22	72	42	97	64	79				477				376
資金別																	
民間資金	163	200	148	189	237	289	325	231	346				2,128				1,617
公的資金	41	29	101	28	20	19	28	42	36				344				173
公営住宅	0	0	80	0	0	0	0	0	6				86				6
住宅金融機構	27	9	13	11	14	18	6	17	12				127				78
都市再生	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0				0
その他	14	20	8	17	6	1	22	25	18				131				89
構造別																	
木 造	184	155	152	176	165	267	229	211	190				1,729				1,238
非木造	20	74	97	41	92	41	124	62	192				743				552
SRC	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0				0
RC	0	44	87	0	64	0	107	37	97				436				305
S	20	30	8	41	26	41	16	24	95				301				243
CB	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0				0
その他	0	0	2	0	2	0	1	1	0				6				4
工法別																	
在来工法	125	185	229	147	185	202	280	204	291				1,848				1,309
プレハブ	21	30	11	43	27	43	19	18	56				268				206
枠組工法	58	14	9	27	45	63	54	51	35				356				275
建て方別																	
一戸建	142	150	149	172	135	213	170	170	183				1,484				1,043
長屋建	62	8	10	32	44	71	64	37	46				374				294
共 同	0	71	90	13	78	24	119	66	153				614				453
前年新設住宅計	232	130	234	223	254	362	362	263	267	373	283	305	3,288	204	229	249	3,374
前年比	87.9%	176.2%	106.4%	97.3%	101.2%	85.1%	97.5%	103.8%	143.1%				75.2%				53.1%
差	-28	99	15	-6	3	-54	-9	10	115				-816				-1,584

国産原木市況

ヒノキの出材は減少

9月上旬の森連共販平均価格は、スギ柱用材が前月比㎡当り700円高の1万2,000円、同中目材は400円高の1万1,900円。ヒノキ柱用材が200円高の1万5,500円、同中目材は300円安の1万5,100円となった。

ヒノキ原木の出材が先月と比較して5,000㎡減少したものの、例年同月通りの出材に落ち着いた。新材への入れ替わり時期と買い方の手持ち不足感から、地域により原木市況は

強気配に進む模様。

製品市況は、増税前の駆け込み需要がほとんど見受けられない。一方でプレカット工場はフル稼働を維持している。

合板用原木は順調に入荷しており、バイオマス用原木の出材も好調を維持し、強保合の地域も見える。

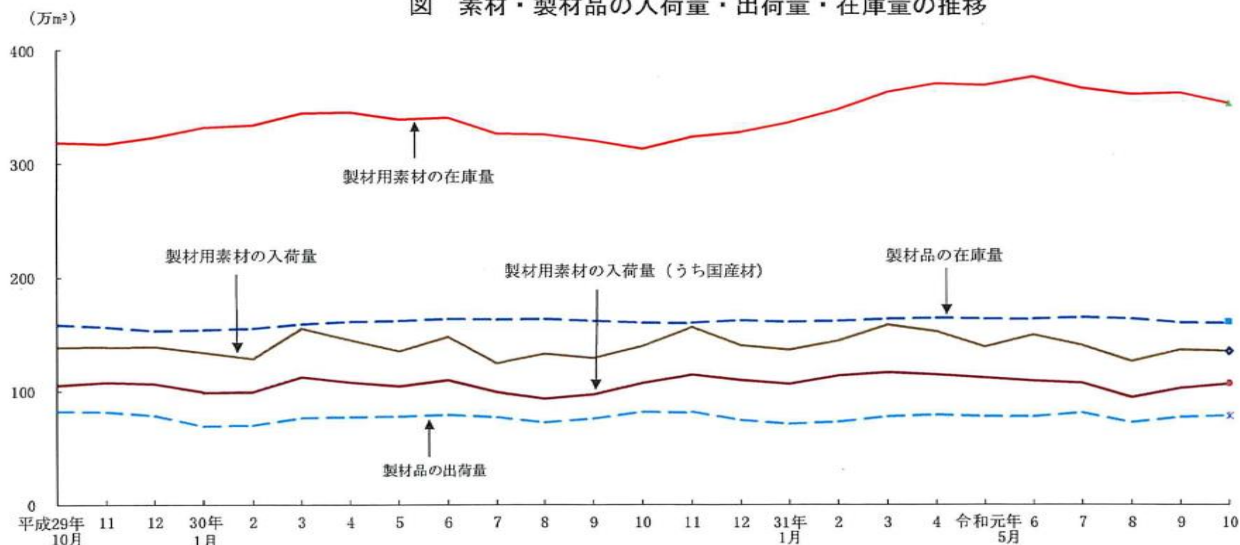
丸太高、製品安となる懸念が聞こえてくるものの、10月以降の原木価格については、保合から小幅高の声が聞こえてくる。

全国森林組合連合会系統事業部

— 製材統計（令和元年10月分） —

（製材用素材の入荷量は、前年同月に比べ3.3%減少 製材品の出荷量は、前年同月に比べ4.4%減少）

図 素材・製材品の入荷量・出荷量・在庫量の推移



【統計表】

1 製材用素材の入荷量、消費量及び在庫量

2 製材品の生産量、出荷量及び在庫量

月別	単位：千m³			単位：千m³		
	入 荷 量	消 費 量	在 庫 量	生 産 量	出 荷 量	在 庫 量
平成30年 10月	1,397	1,468	3,138	808	819	1,606
11	1,561	1,455	3,244	813	815	1,604
12	1,403	1,364	3,283	762	745	1,621
31年 1月	1,367	1,269	3,370	711	710	1,612
2	1,441	1,326	3,485	738	732	1,618
3	1,581	1,432	3,634	797	779	1,636
4	1,521	1,444	3,711	801	794	1,643
令和元年 5月	1,388	1,403	3,696	776	780	1,639
6	1,496	1,422	3,770	776	780	1,635
7	1,402	1,500	3,672	823	810	1,648
8	1,266	1,319	3,619	719	728	1,639
9	1,361	1,352	3,628	736	770	1,605
10	1,351	1,444	3,535	782	783	1,604
対前月比(%)	99.3	106.8	97.4	106.3	101.7	99.9
対前年同月比(%)	96.7	98.4	112.7	96.8	95.6	99.9

木材価格（令和元年10月）（概数）

— 素材価格は、すぎ中丸太が前月に比べ2.2%上昇
— 製品卸売価格は、すぎ正角が前月に比べ1.8%上昇

【調査結果】

令和元年10月の木材全国価格（主要品目）の概要は、以下のとおりである。

表 主な素材価格及び木材製品卸売価格（全国）

品 目	規 格	価 格	対前月差	対前月比	対前年 同月比
		円/㎥	円/㎥	%	%
素 材 価 格					
す ぎ 中 丸 太	(径 14.0 ～ 22.0cm 、 長 3.65 ～ 4.0 m)	13,700	300	102.2	97.9
ひ の き 中 丸 太	(径 14.0 ～ 22.0cm 、 長 3.65 ～ 4.0 m)	18,100	600	103.4	95.3
米 つ が 丸 太	(径 30.0cm 上 、 長 6.0 m 上)	27,200	400	101.5	101.5
製 品 卸 売 価 格					
す ぎ 正 角	(厚 10.5cm 、 幅 10.5cm 、 長 3.0 m)	62,700	1,100	101.8	102.6
ひ の き 正 角	(厚 10.5cm 、 幅 10.5cm 、 長 3.0 m)	77,900	1,400	101.8	102.0
米 つ が 正 角 (防 腐 処 理 材)	(厚 12.0cm 、 幅 12.0cm 、 長 4.0 m)	84,100	1,500	101.8	101.6

注： 一部の調査項目について、修正作業中のため一時的に掲載をとりやめております。
ご迷惑をおかけしますが、修正作業完了までしばらくお待ち願います。

図 1 素材価格の推移（全国）

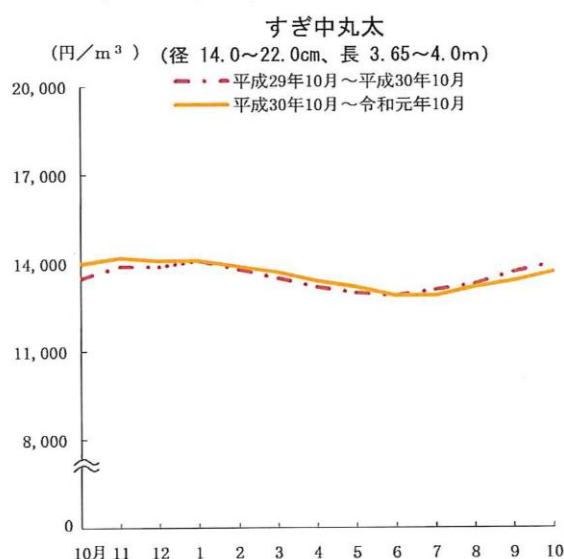
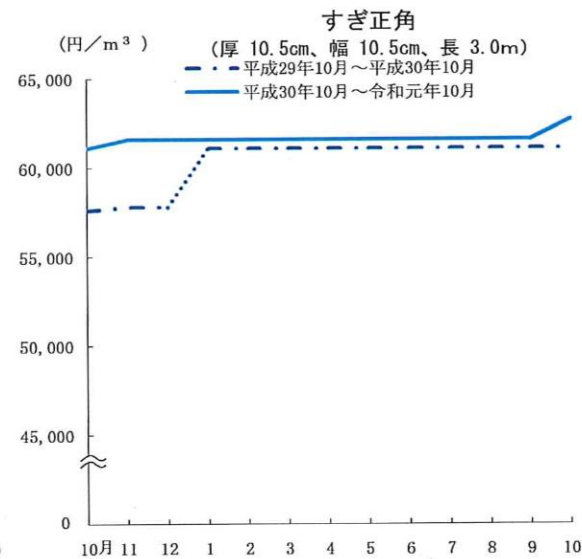


図 2 製品卸売価格の推移（全国）



注： 1 平成30年1月から、平成28年の素材・木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

2 すぎ中丸太（径 14.0～22.0cm、長 3.65～4.0m）の平成30年7月及び8月分の全国価格は、平成30年7月豪雨により愛媛県で調査票を回収できなかった調査対象工場を除いて算出した。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuryu/kakaku/index.html#m> 】

木のなんでも無料相談

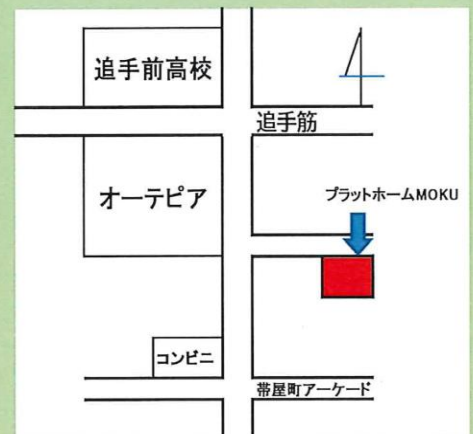
フラットホーム Moku

Open! オープン Open!

木造建築相談室、高知県木工連の木製品展示販売所が
オープンしました! お気軽にお立ち寄りくださいませ



場所 高知市帯屋町1-14-20
ST 柳町ビル I 2階
(1階 幡多バル)
営業時間 ・毎週日曜日 AM10時～PM4時
・平日 予約制
予約電話 088-802-8087 (担当 江西)



木造相談コーナー



木製品販売コーナー



管理: (一社) 高知県木材協会 TOSAZAIセンター
高知市小倉町2-8 tel 088-883-6721 FAX 088-884-1697

◆行事予定（令和元年12月～令和2年1月）

行事

◆ 12月03日（火）：CLT 建築推進フォーラム in kochi	（ちより街テラス）
◆ 12月04日（水）：高知県木材協会理事会・祝賀会	（高知会館）
◆ 12月05日（木）：高知都市木造セミナー	（高知会館）
◆ 12月10日（火）～11日（水）：東京ウッドコレクション	（東京ビッグサイト）
◆ 12月10日（火）：大阪木材相互市場 土佐材展	（大阪）
◆ 12月11日（水）：講演会 ～赤岡町屋再生活用プロジェクト～	（高知工業高等専門学校）
◆ 1月06日（月）：土佐緑友会名刺交換会	（ザクラウンパレス新阪急高知）
◆ 1月11日（土）～13日（月祭）：神戸大丸インテリア館シュゼエール	（高知木工連売り出し）
◆ 1月15日：高知都市木造セミナー	（ちより街テラス）
◆ 1月20日（月）～22日（水）：国際雑貨 EXPO	（幕張メッセ）
◆ 1月23日（木）～24日（金）：TOSAZAI 産地見学・現地商談会ツアー	（梶原・ちより街テラス）
◆ 1月28日：SCM 経営セミナー	（サプライチェーンマネジメント）

次世代へつなぐ ウッドファースト社会 を目指して

木を育て～木に親しみ～木を活かす



（写真：ウッドワンダーランド）10月5日名古屋



一般社団法人高知県木材協会

〒781-0801 高知市小倉町2番8号

☎ 088-883-6721 fax 088-884-1697

<http://www.k-kenmoku.com>